

厚鋼用超硬ホールソー

メタコア マックス MAX

取扱説明書 ワンタッチタイプ

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

製品をより安全に効率よくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みください。また、当取扱説明書は、製品を廃棄されるまで大切に保管してください。

【特 長】

- SM/SN鋼板も高精度スピード穿孔。オーバーラップ穿孔も可能。
- 3枚組刃(口径17mm以下は2枚組刃)、特殊超硬チップ等ユニカ独自のテクノロジーを結集。
- 口径16mm以下は更なる独自強度設計により、工具寿命が大幅に向上。
- ワンタッチ式の磁気ボール盤に直接取付可能。

【用 途】

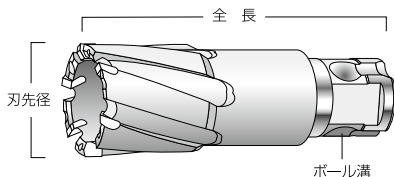
鋼板(HB300以下)、鉄板、ステンレス板(※)、
金属パイプ(※)等の穿孔

※磁気ボール盤での対応は、各電動機の取扱説明書に従ってください。

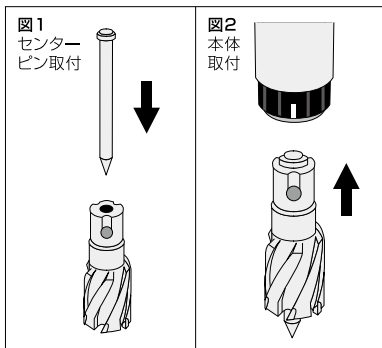
【規 格】

型 式	全 長	有効長	口 径
MAX25	62mm	25mm	11.5~13.5mm
MAX35	73mm	35mm	14.0~40.0mm
MAX50	90mm	50mm	17.5~65.0mm

〈メタコアマックス(ワンタッチタイプ)ボディ寸法図〉



〈ワンタッチタイプ取付方法〉



【使用可能電動機】

磁気ボール盤/ボール盤に取付可能。

※ボール盤、各種工作機械には専用シャンクアッセンブリー(サイドロック ビス止め)をご使用下さい。

【切削条件】

水溶性切削油剤を内部より供給(湿式穿孔)

【取付方法】

- ①メタコアマックスのサイズに適合するセンターピンを、ボディに差し込みます。(図1)
- ②メタコアマックスのくぼみ部とスリーブの白線を合わせて差し込みます。「カチッ」と音がしてロックされます。(図2)

【使用方法】

- ①ご使用前に、機械本体のスライド部にガタが無いよう確認・調整します。
- ②「取付方法」の要領で機械本体に取り付けた後、使用機種種の回転数を使用に適した数値にセットします。
- ③位置決めのため、穴あけ位置にセンターポンチ穴を打ちます。
- ④切削液バルブを開き、モーターを回転させ、手送りの場合、1~2mmの深さまでゆっくりと切込み、その後所定速度で送りを行います。自動送り機能があるものは、機械の手順に沿って穴明けしてください。
- ⑤穿孔終了後、スピンドルが停止してから、ボディに絡みついた切り屑を除去します。万一、抜きカスが内部に残っている場合は、ボディの上部を木づち等で軽く叩くと抜けます。

【再研磨の方法】

再研磨につきましては、最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。

【使用上の注意】

- ①ご使用前に、機械本体のスライド部にガタが無いよう確認・調整します。
※スライド部にガタがあると、穴あけ精度の低下や刃物寿命の著しい低下の原因となります。
- ②穿孔を中断する場合は、回転したまま被削材から引き上げた後に機械を止めてください。
- ③回転が穿孔途中で低下、あるいは停止することのないよう、作業前に機械動力が十分かどうか確認してから使用してください。
※万一、穿孔中に回転が停止してしまった場合は、刃先の損傷を抑えるために、1~2mm逆方向に戻してから引き上げてください。
- ④必ず水溶性切削液を内部から流しながら使用してください。
- ⑤手送り穿孔の場合、機械動力に余裕があっても、過送りしないでください。
- ⑥難削材などの穿孔中に発煙が生じる場合は、適時引き上げて冷却し、また、ボディの外部からも切削液をかけながら、穿孔するようにしてください。なお、発煙は有害ですので吸わないようにしてください。
- ⑦重ね切りは1穴貫通ごとに、抜きカスを除去してから行ってください。また、ボディ内部に抜きカスが残ったまま穿孔しますと、刃先を傷めるだけでなく、抜きカスが内部から抜けなくなり、使用不能となります。
必ず、1穴貫通ごとに抜きカスが内部につまっていないか確認してから作業してください。



警 告

- ①作業に適した服装で作業を行って下さい。特に切り屑等が目に入らないように、保護メガネを着用してください。
- ②作業環境を整えてから行ってください。
高所、可燃性物質のある所、暗所、雨中、湿地にての作業は足場確保、落下防止、引火防止、感電防止などの安全を確保してから行ってください。
- ③使用前、製品に損傷がないかを点検し、損傷があるときには絶対に使用しないでください。
- ④電動機に着脱する際は、始動スイッチが切れていることを確認し、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後、行ってください。
- ⑤穿孔時の摩擦により製品本体、切り屑、穿孔面は高温になっております。絶対に素手で触れないでください。
- ⑥改造は絶対にしないでください。
- ⑦回転中の回転部分、特に刃先には手を触れないでください。
- ⑧使用中に異常を感じたときは、使用を中止し、製品・電動機を点検してください。
- ⑨記載用途以外の使用は、メーカーに必ずお問い合わせください。
- ⑩使用する電動機の取扱説明書をよくお読みになった上でご使用ください。



注 意

- ①作業員以外は作業場の周囲に近づけないでください。
- ②刃部は鋭利ですので、素手では触れないでください。
- ③使用後は注意深く手入れをしてください。

【このようとき】

- (1) ボディ内に抜きカスがつかまる。
→ボディ上部を軽くたたくと抜けます。それでも抜けない場合はボディを機械から取り外して同様にたたいてください。
- (2) 切り屑が粉末状になる、または穿孔面が粗い。
→刃先の摩耗が考えられますが、最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。
- (3) 穿孔中に回転が停止した。
→「使用上の注意(3)」をご参照ください。

この他に、何かお困りの時には最寄りの弊社営業所(下記)までご一報ください。

製品の品質に関しましては万全の体制で取り組んでおります。万一、欠陥・不良等の場合には、お手数ですが、製品と当取扱説明書を添えてご購入店にお持ち下さるか、弊社本社宛に発送してください。また、本製品は改良のため、仕様および形状を予告なく変更することがあります。ご了承ください。